

公益財団法人岐阜県教育文化財団助成事業
公益財団法人田口福寿会助成事業
公益財団法人十六地域振興財団助成事業
OKB 大垣共立銀行

岐阜新聞大賞受賞記念

多治見少年少女合唱団とシニアコア

帰国記念演奏会

世界合唱シンポジウムinバルセロナ

1部 日本のうた

柴田南雄

合唱と箏のための さくら

箏/市原みわ

間宮芳生

うたのわたりどりたちより しゅっけまっけ ゆりは

池辺晋一郎

東洋民謡集より ポロ・ヘチリ

三善 晃

阿波踊り

ピアノ/中川俊郎

三善 晃

唱歌の四季 朧月夜 茶摘

紅葉 雪 夕焼小焼

ピアノ/浅井道子

2部 祈りのうた

三善 晃

童声(女声)合唱とオーケストラのための

響紋

権代敦彦

2台ピアノによる新垣隆リダクション

ピアノ/中川俊郎 新垣 隆

A・L・Webber

Ave Maria

パイプオルガン/今村初子

G・Caccini

“REQUIEM”より Pie Jesu

弦楽アンサンブル/アンサンブル・セラ

村松崇継

Ave Maria

ピアノ/小見山純一

Far Away

3部 ミュージカル レ・ミゼラブル より

C. M. Schönberg

Look down / I dreamed a dream

Castle on a cloud / Do you hear the people sing?

One day more

(コンサート形式による演奏)

オーケストラ/アンサンブル・セラ

ピアノ / 小見山純一

パーカッション / 池永健二

指揮 柘植 洋子

合唱 TAJIMI CHOIR JAPAN 多治見少年少女合唱団とシニアコア

2017.10/8 [日]

14:30開場 15:00開演

サラマンカホール

岐阜市藪田南5-14-53

全自由席 一般 2,000円 / 高校生以下 1,000円

(未就学児のご入場はご遠慮ください。)

主催 TAJIMI CHOIR JAPAN多治見少年少女合唱団とシニアコア TAJIMI CHOIR JAPAN育成会
共催 岐阜県 サラマンカホール 岐阜新聞・ぎふチャン
助成 公益財団法人岐阜県教育文化財団 公益社団法人田口福寿会 公益財団法人十六地域振興財団 OKB 大垣共立銀行
後援 公益財団法人岐阜県教育文化財団 多治見市 多治見少年少女合唱団友の会 ヤマカ株式会社 TYK 伊藤商会
多治見農業協同組合 多治見ロータリークラブ 多治見西ロータリークラブ 多治見リバーサイドロータリークラブ
多治見ライオンズクラブ 多治見陶都ライオンズクラブ 多治見青年会議所 中日新聞 朝日新聞
協賛 パローホールディングス 東海西濃運輸株式会社 岐阜日野自動車 トヨタカローラ岐阜 ネットトヨタ岐阜 セイノー商事

チケット販売

パロー文化ホール 0572-23-2600
ヤマカまなびパーク 0572-23-7022
サラマンカホールチケットセンター
058-277-1110
(9:00~21:00)

<お問い合わせ>

TAJIMI CHOIR JAPAN事務局
☎ 0572-25-6703 (谷村)

世界合唱シンポジウム及び帰国記念演奏会に対し、ご支援いただいた皆様のご芳名を掲載させていただきます。



TAJIMI CHOIR JAPAN 多治見少年少女合唱団とシニアコア

TAJIMI CHOIR JAPANは、1972年多治見青年会議所の提唱により創立された。1982年に柘植洋子を指揮者に迎え、1986年に日本の現代合唱音楽の演奏については第一人者で東京混声合唱団指揮者として国内外で精力的に活躍している田中信昭を、音楽監督・指揮者として迎えた。TAJIMI CHOIR JAPANは、日本の優れた作曲家に作品を委嘱し初演することを活動の核にしている。その活動によって、三善晃「朝の羽ばたき」、柳慧「三つの歌」、杉山洋一「たまねぎの子守歌」、権代敦彦「はじめに神は天と地を創造した」(Ave Maria-Stabat Mater-Salve Regina)、野平一郎「ある科学者の言葉」「進化論」、林光「はるなつあきふゆ」、西村朗「振りかえれば猫がいる」等の作品が生まれた。TAJIMI CHOIR JAPANは国内だけでなく海外からも招聘され、シンガポール、アメリカ、オーストラリア、韓国、台湾へ出かけた。2017年スペインバルセロナで行われた世界合唱シンポジウムに、世界23の合唱団とともに招待合唱団として参加。L'Auditoriカザルスホール、サグラダファミリア、サンタマリアデルピ教会等で演奏し、称賛された。優れた演奏家と共演する機会も多く、小林研一郎指揮名古屋フィルハーモニー、飯森範親指揮名古屋フィルハーモニーとの共演をはじめ、世界的に有名な笙演奏

家の宮田まゆみ・石川高、箏奏者の福永千恵子、パーカッショニスト藤井むつ子、高田みどり、ハーブシコード奏者で指揮者でもある小林道夫等との共演や録音がある。2015年東海地域の若い演奏家とオーケストラ「アンサンブル・セラ」を立ち上げ、オーケストラと共演する機会を多くの人々に提供し、地域の文化振興にも意欲的に取り組んでいる。2018年「美濃connection」を企画し、行政区を越えた美濃地域における音楽文化の連携を模索している。10を超えるCDとDVDのレコーディングがある。



指揮
柘植洋子

日本合唱界の重鎮であり東京混声合唱団桂冠指揮者である田中信昭から指揮法を学ぶ。1982年多治見少年少女合唱団指揮者として招かれ、1985年に田中信昭と出会うことにより日本の合唱界の最先端の合唱活動へと導かれるに至る。2015年東海地域の若い演奏家と共に「アンサンブル・セラ」オーケストラを設立し、オーケストラとの共演を通して地域の文化振興に意欲的に取り組んでいる。小林研一郎指揮名古屋フィルハーモニー交響楽団「カルミナ・ブルーナ」第9巻、飯森範親による「マタイ受難曲」の合唱指揮を務め、称賛された。2017年スペインバルセロナにおける世界合唱シンポジウムでは、L'Auditoriカザルスホールでのメインコンサート、サンタマリアデルピ教会、サグラダファミリアにおける演奏会等で指揮を務めた。



ピアノ
中川俊郎

桐朋学園大学作曲科卒業。作曲を三善晃、ピアノを末光勝世、森安耀子の各氏に師事。<Music Today '82(武満徹企画構成)>10周年記念国際作曲コンクール第1位。1988年村松賞、2010年、サントリー芸術財団主催「作曲家の個展2009、中川俊郎」の成果に対して第28回中島健蔵音楽賞を受賞。CM音楽界においても「ACC賞」など受賞多数。東芝EMIから、自作のサントリー「烏龍茶CM曲シリーズ」を収録したCD「chai」、「coccoloni uta」]、他をリリース。また今年3月フォンテックからCD管弦楽作品選集「沈黙の起源」を発売。日本現代音楽協会副会長、日本作曲家協議会常務理事、お茶の水女子大学非常勤講師。



ピアノ
浅井道子

都立芸術高校音楽科を経て桐朋学園大学音楽学部を卒業。須貝久子、今泉統子、高良芳枝の各氏に師事。室内楽を三善晃氏に師事。独唱、合唱、室内楽における共演者として、さまざまな演奏会、放送に出演。録音にも多数参加している。またソロ・コンサートのほかに東京文化会館主催「今日の作曲家」シリーズ、「MUSIC TODAY」などで現代ピアノ作品を演奏した。



ピアノ
新垣隆

4才よりヤマハ音楽教室で作曲を学ぶ。ショパン「幻想即興曲」、ストラヴィンスキー「子供の鎮分」「春の祭典」等に影響をうける。千葉県立幕張西高校音楽科、桐朋学園大学音楽学部作曲科卒業。昭和期における作曲家達の研究に従事、現代音楽を主体としつつ映画やCM音楽の作曲を手掛ける。2013年度まで桐朋学園大学音楽学部非常勤講師を約20年にわたり務める。2016年13年ぶりとなる新作交響曲「連祷-Litany-」を発表、同年11月に世界リリース。最近ではテレビ・ラジオ番組に多数出演し、作曲家・ピアニストとして多岐にわたり精力的に活動する。作曲を南聡、中川俊郎、三善晃、ピアノを中岡彦彦、河内純、夢藤彦彦、森安耀子の各氏に師事。



オーケストラ
アンサンブル・セラ

2015年にTAJIMI CHOIR JAPAN 多治見少年少女合唱団とシニアコアの専属オーケストラとして発足。「セラ」は陶磁器(セラミック)で有名な多治見にちなんでつけられた。コンサートマスターに松本一策氏を配し、東海地区で活躍する若手奏者を中心に構成され、様々なジャンルの演奏を得意としている。これまでに「ライオンキング」「アナと雪の女王」のミュージカル公演、「レミゼラブル」コンサート形式演奏会を行い、好評を博した。9月セラミックパークMINOにおける国際陶磁器フェスティバルで、陶芸と現代音楽の融合をテーマに3回の演奏を行った。



パイプオルガン
今村初子

ボストン・ニューイングランド音楽院留学。スペイン・ダロッカ国際古楽アカデミー、サラマンカ大学等で研鑽を積む。ピストリア賞、ケラルデスキ賞、白川賞、白川特別賞、岐阜市芸術文化奨励賞受賞。イタリア国際オルガンアカデミー招待リサイタル、国際親善協会主催スペインサラマンカ大聖堂リサイタル等、イタリア、アメリカ各地でリサイタルを開く。小林研一郎指揮名古屋フィルハーモニー交響楽団、藤原歌劇団合唱部、森麻季氏等と共演。中部学院大学オルガニスト、同大学短期大学部講師。



ピアノ
小見山純一

岐阜県立岐阜高等学校を経て、広島大学教育学部音楽文化系コースを卒業。愛知県立芸術大学大学院音楽研究科器楽専攻修了。日本ピアノ教育連盟主催第18回ピアノオーディション全国大会入賞。第12回大阪国際音楽コンクール(コンチェルトオーディション部門)第3位。これまでにソロリサイタルを2回開催。セントラル愛知交響楽団、岐阜県交響楽団と共演。ピアノを、野田節子、矢島紀代子、矢島勝、佐藤紀美子、岡野説子、ヴァディム・サハロフの各氏に師事。現在、岐阜聖徳学園大学専任講師。



パーカッション
池永健二

愛知県立芸術大学を経て、同大学院修士課程を修了。在学中よりNHK-FM「現代の音楽」、数々の演奏会、音楽祭に出演。2014年より東京を拠点に演奏活動を本格的に始動。リサイタルでバハ無伴奏チェロ組曲全曲演奏に取り組む。山田和樹東混音楽監督就任ライブ「鳥獣戯画」CD製作に参加。打楽器を、河森博子、今村三明、神谷百子、佐野恭一、深町浩司、池上英樹の各氏に師事。中村功、後藤由里子、Peter Sadlo、Bogdan Bacanuの各氏のマスタークラス受講。



箏
市原みわ

幼少より田上幸子氏(国風音楽会大師範)に手ほどきを受ける。可見市を拠点とし各種イベントや施設での演奏。2004年より第三絃の教室を始め、中学校音楽教育の講師を務める。2009年より海外公演、ドイツ・イタリア・フランス・チェコにてコンサートとワークショップを開催。2012「変態自在二人のマエストロ」名古屋公演にて沢井一恵氏、野坂操氏と共演。2014年滋賀県邦楽・邦舞専門実演家養成所修了。現在、滋賀県邦楽邦舞専門集団「しゅはり」団員。国風音楽会師範。

サラマンカメイトのご案内

特典

- チケットの先行販売
- チケットの割引(1公演2枚まで)
- ダイレクトメールによるコンサートのご案内
- グッズコーナーでの割引

※お電話(058-277-1110)でもお受けしております。入会申込書をご郵送いたします。
●年会費2,000円
※入会申込書は、サラマンカホール チケットセンターでご用意しています。
※年会費の口座振替もご利用ください。

交通アクセス・駐車場

公共交通機関

- JR岐阜駅(北口)より「岐阜バス」で約20分
- 名鉄岐阜駅より「岐阜バス」で約25分
- JR西岐阜駅(南口)より「西ぎふくるくるバス」で約12分
- JR東海道本線・名古屋駅から西岐阜駅まで約23分

自動車

- JR西岐阜駅から車で約5分(南口タクシー乗り場より約2km)
- JR東海道新幹線・岐阜羽島駅および名神高速道路・岐阜羽島ICより車で約20分 ●無料駐車場完備

客席のご案内

客席のご案内

パイプオルガン

ステージ

招待者席